

第一中学校区魅力ある学校づくり事業 工事期間中の教育環境の在り方について（素案）パブリックコメント結果概要（案）

■素案の内容に関する意見等 210件

1. はじめに 0件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
		0

2. 第一中学校区における学校の適正配置 2件

(1) 現状と課題

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
・交野小学校の工事期間中に長宝寺小学校へ小小統合とするB案について、健全度評価が78となっている長宝寺小学校の老朽化対策をどう考えているのか。また、校舎の安全性をきちんと考えたうえでB案を検討しているのか。	・「学校施設等管理計画」に基づき、校舎の安全性にかかる必要な老朽化対策は、長宝寺小学校を含む全ての交野市立小中学校で順次実施しています。	1

(2) 学校適正配置の考え方

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
・配慮が必要となる事柄について、学校や保護者、地域の方々と十分協議調整の上、とあるが、教育委員会として現状安全確保ができていない箇所を洗い出しして市民へ提供するべきではないのか。教育委員会が主導で、実際に児童生徒にも歩かせて、通学時間、安全面を検討したうえでパブリックコメントを実施するべきではないか。	・工事期間中の学びの場を決定した後、学校や保護者、地域の方々からのご意見を聞きながら通学路の危険箇所の把握や様々な安全対策等について検討するとともに、関係部局、関係機関と連携し、通学路の設定や通学の安全確保について、ハード、ソフトの両面からの取り組みに努めます。	1

3. 「第一中学校区における魅力ある学校づくり協議会」の経過 2件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
・地域協議会について「参加者数の推移」があるが、協議会の回数を重ねるごとに参加者が減少しているがその要因をどう分析しているのか。また、参加者の属性（PTA、学校関係者など）、協議会員合計数を明示していただきたい。 ・地域協議会に学校関係者が参加しているのか。学校関係者等が連携・協力しとは具体的にどういうことを言っているのか明記してほしい。	・地域協議会は第一中学校区における、PTA役員、各地区の区長、校区福祉委員、民生児童委員、青少年指導員等50名の方にご参加いただいております。ワークショップ形式で連携・協力しながら意見交換を実施しています。	2

4. 工事期間中の教育環境

201件

(1) 5つの案の比較検討

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
B案について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎建設の方法・手順について、工事期間中に交小、長小、一中に通学する全ての児童生徒への悪影響（工事車両・迂回交通車両との交通事故遭遇リスク、騒音振動・粉じん等の環境・健康被害リスク、運動場・プール等の学校施設等が使えないなどの教育環境悪化リスク、通学路の変更や転校等の心理的・身体的負担リスク等）を最小限度に抑え、施設配置・設計・工法・工事工程の選択に関する自由度が最も高く、工期短縮や仮設工事の省力が可能で経済的合理性（建設費抑制）や環境合理性（周辺環境保全性）に最も優れた、B案の採用に賛成する。</li> <li>・B案の採用を前提として、工事関係車両による通学児童生徒や近隣住民への交通事故リスクの増加対策、周辺民家への騒音・振動、粉じん・排ガスによる公害防止対策（環境リスク対策）として、工事現場への侵入・退出経路を現交野小学校敷地南東側の第二京阪側道への接続道に限定し、同小学校周辺道路の通行を規制することが必要。</li> <li>・B案の採用を前提として、工事中の迂回一般車両による児童生徒や近隣住民への交通事故リスク・環境悪化リスクの増加対策として、工事開始当初に交小敷地周辺指導の拡幅、歩道・歩道柵等の整備、旧給食センター東側に通路を新設し、特に青山地区・私部7，8丁目地区に居住する児童生徒・地域住民だけでなく、神宮寺の学校や私部霊園に通う地域住民に対する、工事期間中・工事完了後の交通安全性・環境安全性を確保することが必要。</li> <li>・本来、協議会がまとめた内容を基に、公平で客観的な根拠を得てから結論を出すべきで、意思決定基準が不明確で一部の意見を安易に「B案が望ましい」と結論を出すことは、審議会運営への疑念及び地区住民の混乱を招く結果になるだけである。</li> <li>・長宝寺小学校の小規模状態は、小中一貫校整備により解消される問題であり、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統合の有無に関わらず、大規模な学校施設整備によっては仮設校舎の設置が必要となります。仮設校舎を設置することで、校区によって教育環境に大きく差が出るものではないと考えます。工事期間中の各プラン案の中で、長宝寺小学校へ仮設校舎を建設するB案が工期や工程が一番短くなる等、小学校児童への影響がより少なく、中学校生徒への影響はほぼ無いものと考えます。また、「B案が望ましい」との結論は、地域協議会での意見取りまとめの様々な内容を踏まえ、新校舎建設の方法・手順について、児童生徒への様々な影響等も考慮のうえ総合的に判断された結果であり、公平で客観的な審議の結論と考えます。</li> <li>・通学の安全確保や、義務教育期間中に何度も学校が変わることによる子どもたちへの負担等への軽減策等についても、工事期間中の学びの場を決定した後、学校や保護者、地域の方々からのご意見を聞きながら、様々な安全対策等について検討するとともに、関係部局、関係機関と連携し、ハード、ソフトの両面からの取り組みに努めます。</li> </ul>	<p>7</p>

<p>交野小学校児童が長宝寺小学校の敷地に通うことを優先する理由はない。より多くの市民が負担を強いられる状況におかれる結果になるため優先順位の基準が不明確である。小学生同士が事前に仲良くなれる事については、C-1案でも同じことが言える。よってB案に結論付ける確固たる理由が見当たらない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 通学路の設定や通学距離、通学路の安全確保、義務教育期間中に何度も学校が変わることによる子どもたちへの負担や教育上のデメリット、それに対するケア等について、その考え方や対策が何一つ書かれておらず分からない。納得できる説明を求める。</li> <li>• B案の長宝寺小学校に仮設を建てることの児童への影響が出されていない。</li> </ul>		
C案について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本子ども会において、工事・通学両方とも危険回避を考慮するとC-2案の賛成意見が多くある。</li> <li>• この度、本自治会で取り組んだアンケートで、「素案に示された5案のうちどれを支持するか、またその理由は」という項目に対し、回答のあった世帯のうち約53%が、C-2案を支持した。その理由は、「通学の負担が少ない」、「工事期間中に小中一貫校を体験することが合理的である」などであった。本自治会住民は、交野小学校、第一中学校に通うことを前提に、この地域に住んでいるもので、仮に、施設一体型小中一貫校開校により、交野小学校、長宝寺小学校、第一中学校を現在の交野小学校敷地内に施設一体型小中一貫校を設置することまでは容認できたとしても、長宝寺小学校まで通うことを容認することはできない。本自治会の要望としては、C-2案が望ましい。</li> <li>• C案の採用が望ましくないという「いきなり小学生が中学校で生活することへの不安」は、そもそも小中一貫校の課題であり、採用されない理由には不十分。一貫校自体が望ましくないということになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 工事期間中における各プラン案に対する賛成・反対のご意見は、各地域や団体によっても偏りがあるものと考えます。また、「B案が望ましい」との結論は、地域協議会での意見取りまとめの様々な内容を踏まえ、新校舎建設の方法・手順について、児童生徒への様々な影響等も考慮のうえ総合的に判断した結果であり、公平で客観的な審議が実施された結論と考えます。</li> <li>• 施設一体型小中一貫校の設計段階では、子どもの発達段階に合わせた学年の区切りにおいて別々に確保することが必要となる施設や配慮について、今後具体的に検討を進めてまいります。なお、「いきなり小学生が中学校で生活することへの不安」との地域協議会での意見取りまとめは、発達段階に合わせた配慮が必要</li> </ul>	7

<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年に市役所新庁舎が開庁する方向性の中、旧庁舎取り壊しの際の工事中に市役所前を通学することになり危険である。C-2案であれば、市役所付近を通学する児童はほとんどいないため、市役所前の道路も整備すれば、小中一貫校が完成した時の通学路も安全に整備できると考える。</li> <li>「中学校の生徒の学校生活への支障」について、この不便さと遠隔地へ通うこととなる小学生の安全との比較であり、子供の生命を守ることの優先順位が低くなっているのは理解できない。</li> </ul>	<p>となる施設を設計することが困難な仮設校舎での施設一体型小中一貫校を実施するとしたC案に対するご意見と考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間中におけるどのプラン案においても、また新校整備後においても、学校や保護者、地域の方々からのご意見を聞きながら、通学路の危険個所の把握や様々な安全対策等について検討するとともに、関係部局、関係機関と連携し、通学路の設定や通学の安全確保について、ハード、ソフトの両面からの取り組みに努めます。</li> <li>ご懸念されている市役所本庁北側部分の市道については、現在、通学路の指定はされていません。</li> <li>「中学校の生徒の学校生活への支障」と「小学生の通学距離が遠くなる地域があること」との単純な比較検討による結論ではなく、また、通学距離が遠くなる地域が一部あることで、こどもの生命を守ることの優先順位が低くなるというものではないと考えます。</li> </ul>	
その他の案について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきランド交野に建設予定の新庁舎整備の工事期間が令和4年から令和5年であり、交野小整備期間の令和4年から令和6年までの期間と重複している。「指定避難所」「通学路の安全面の確保」に不安が残る以上、D案として「各案について実施時期を延期する」を希望する。</li> <li>交野の一部の児童だけが、通い慣れた学校を離れ、仮の校舎で3年間も過ごさざるを得ないことが、今の時代に信じられない。A-1. 2/B/C-1. 2案以外の計画の見直しを求めざるを得ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新庁舎整備と新校舎整備の期間が重複することとなった場合においても、指定避難所の変更指定等の対応は必要と考えます。また、通学の安全確保は、工事期間中におけるどのプラン案においても、また新校整備後においても、通学の安全確保に努めます。なお、実施時期の延期は無いものと考えます。</li> <li>「B案が望ましい」との結論は、地域協議会での意見取りまとめの様々な内容を踏まえ、新校舎建設の方法・手順について、児童生徒への様々な影響等も考慮のうえ総合的に判断された結果であり、公平で客観的</li> </ul>	3

<ul style="list-style-type: none"> <li>建設地が既存の交野小学校場所と決定しており、整備場所となる交野小学校児童を最優先に考えるべきである。B案を結論にすべきでなく、「私部公園の敷地に交野小学校児童が通う仮設校舎を建て、且つ私部グラウンドを利用する案」が最善策と考える。それにより、すべての児童が自身の学校区内で過ごす事ができB案で発生する多くの不安や不満を解消できる。また、私部公園の周辺道路事情は、仮設校舎の整備中の工事車両等の出入りに関しての安全性確保は行いやすいと考える。</li> </ul>	<p>な審議の結論と考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交野小学校児童のみを最優先に考えるものではなく、第一中学校区全ての児童生徒にとって最善の案を考慮されたものと考えます。なお、「私部公園の敷地に交野小学校児童が通う仮設校舎を建て、」とのご意見ですが、私部公園は都市計画公園であり、一般利用者の使用を制限することや法的な建築制限があるため、仮設校舎の設置は難しいものと考えます。</li> </ul>	
--	--	--

## (2) 工事期間中の教育環境について (方向性)

### ①学校の設置場所について

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
仮設校舎の設置について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間中長宝寺小学校で沢山のプレハブ校舎が必要なのか？また、毎日のお迎えが必要な放課後児童会の教室が、なぜ「中庭」という奥まった場所にあるプレハブ教室なのか？(素案)では何の説明もない。“プレハブ教室ありき”の(素案)はひどすぎる。こどもたちも先生も保護者も大変。</li> <li>工事期間にあたった子どもたちは、貴重な成長の時間をプレハブで3年以上過ごすのか。同じ市内でも校区によって環境が大きく差が出ることも大丈夫なのかと思う。</li> <li>工事期間中校舎について、なぜプレハブなのか？ 温暖化がすすむなか、交野の子どもたちの学びの環境を守らずして、コスト優先で良いのか？</li> <li>新たにプレハブを建設する必要はないのではないのか。既存校舎が老朽化で使用できないのか、新しいプレハブを建設せず低コストでできないのか。なくなる学校にコストをつぎ込むのは税金の無駄遣いである。</li> <li>「第一中学校区の学校施設」(資料)によると長宝寺小学校の体育館が長寿命化判定で×となっているが、南海トラフ地震が来た場合に、体育館で児童が運動していた場合に被害がでるのではないのか？体育館の耐震は教育委員会が安心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校統合の有無に関わらず、大規模な学校施設整備によっては仮設校舎の設置が必要となります。仮設校舎を設置することで、校区によって教育環境に大きく差が出るものではないと考えます。工事期間中の各プラン案の中で、長宝寺小学校へ仮設校舎を建設するB案が工期や工程が一番短くなる等、小学校児童への影響がより少なく、中学校生徒への影響はほぼ無いものと考えます。また、「B案が望ましい」との結論は、地域協議会での意見取りまとめの様々な内容を踏まえ、新校舎建設の方法・手順について、児童生徒への様々な影響等も考慮のうえ総合的に判断された結果であり、公平で客観的な審議の結論と考えます。なお、コストを優先したものではありません。</li> <li>長宝寺小学校の屋内運動場は現時点で、今後30年以上使用することを前提とした長寿命化改修には適さないとの判定ですが、耐震改修済で指定避難所として</li> </ul>	4 3

<p>を保証できるものなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長宝寺小学校が小小統合の児童数のキャパシティに耐えうるのか。運動場面積が一番狭い長宝寺小学校において、運動会などの行事を行う場合、キャパシティは足りているのか。かなり狭くなるのではないかと？</li> </ul>	<p>指定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長宝寺小学校と交野小学校の児童数から必要となる運動場面積は、現在の長宝寺小学校の運動場面積で確保できています。</li> </ul>	
<p>地域のコミュニティや避難所について</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>並行して市庁舎建て替えにむけた検討も進む。災害が起こった時、交野小学校校区住民は、どこに避難すれば良いのか？どの経路で避難すれば安全なのか？素案では、視野に入っていない。</li> <li>南海トラフ、近年の異常気象による想定外の災害が考えられる中、交野小学校、長宝寺小学校、第一中学校の3校とも指定緊急避難場所となっている。地域住民に、具体的な災害対策を含めた「教育環境の在り方素案」を再提案すべきと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新庁舎整備と新校舎整備の期間が重複することとなった場合においても、指定避難所の変更指定等の対応は必要と考えます。また、新しく設置することとなる施設一体型小中一貫校の整備においては、防災拠点としての機能向上も検討していく必要があると考えます。</li> </ul>	40
<p>一時的な校区編成や学校選択制について</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>「通学路の安全確保が実施できない場合」工事期間中の一時的な校区編成を認めるべきだと思う。</li> <li>文科省も認めている学校選択制を導入し、明らかに岩船小学校の方が近い地区については岩船小学校と長宝寺小学校の選択を認めてほしい。子どもの安全は何よりも重要視していることであり、交野市を信頼して引っ越してきた住民に対してある程度の柔軟性を持って対応して欲しい。</li> <li>本自治会地域から、長宝寺小学校まで最短ルートでも約1.5kmもの距離があり、岩船小学校までの距離は、約0.7kmと圧倒的に近い距離にある。学校規模適正化基本計画によると、将来、岩船小学校の児童減少は避けられない状況である事から、児童の受け入れは可能であるのではないかと推測する。そこで、仮設校舎に通う生徒に限り、現在の校区に縛られることなく、希望制など柔軟な校区にすることを要望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間中におけるどのプラン案においても、また新校整備後においても、学校や保護者、地域の方々からのご意見を聞きながら、通学路の危険個所の把握や様々な安全対策等について検討するとともに、関係部局、関係機関と連携し、通学路の設定や通学の安全確保について、ハード、ソフトの両面からの取り組みに努めます。</li> <li>様々な事情において、指定校の変更や区域外就学などの対応も必要と考えます。</li> </ul>	3
<p>小小統合時の移動に伴う作業の安全確保と人員配置について</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>小小統合時に多数の教具の移動作業が予想される。現場の教職員だけでは、到底無理である。市役所や青年の家の解体・移動時期と重なり、3月4月の超多</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校統合や新設開校に向けた準備については、今後、具体的に検討してまいります。</li> </ul>	1

忙時期に市役所職員の応援を頼めるのか疑問である。移動時期の検討と、十分な応援体制を要望する。		
--	--	--

## ②小学校統合と施設一体型小中一貫校の開校について

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
教職員数の減少や教職員の多忙化について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校職員の数は減らさないでほしい。子どもたちの為という魔法の言葉で教員の時間と労力を搾取せず、一体校にするために余分にかかる時間と労力を人数の削減無く、ゆとりのある労働環境を教員の皆さんに与えてほしい。</li> <li>2つの小学校の統合で、8名の教員が減ることになり、担任1人あたりの児童数が増えると考えられる。特に長宝寺小の子どもへの影響、及びそのフォローについてどう考えているのか？担任の先生の他に授業、コミュニケーション、メンタルケアなどサポートできる人材が必要と思われる。</li> <li>現時点でわかっている、統合予定の年の各学年児童数とクラス数、教員数をオープンにしてほしい。また、そのデメリットについての対策を出してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令により学級数に応じて教職員数が決定されます。学級数が減少する場合には、現在の交野小学校の教職員数と長宝寺小学校の教職員数の単純合計とはならないため少なくなります。しかし、現在の交野小学校や長宝寺小学校のそれぞれの教職員数からは多くなり、現状よりもより多くの教職員の目で子どもたちを見ることができ、様々な課題に対して複数の教職員で更に組織的な対応が可能になることから、教職員の負担軽減にも繋がるものと考えます。</li> <li>児童生徒数の推計予測については、令和元年7月の学校教育審議会参考資料をご参照ください。なお、教員数は学級数によって決定するため、現時点ではお答えできません。</li> </ul>	4
小小統合の時期や施設一体型小中一貫校開校の時期等について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは地域と安全面について検証することが先決だと思う。通学路候補の問題点の洗い出しをやってからパブリックコメントを実施するべきではないのか。</li> <li>令和4年に工事開始は早すぎると思う。歩道の整備、道幅の確保をしてからでないと保護者は不安。指針やランドデザインを示してから交野小学校の子どもを移動させたり工事を進めるべきだと思う。</li> <li>新庁舎整備工事期間と重ならないように延期すべきと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間中におけるどのプラン案においても、また新校整備後においても、学校や保護者、地域の方々からのご意見を聞きながら通学路の危険個所の把握や様々な安全対策等について検討するとともに、関係部局、関係機関と連携し、通学路の設定や通学の安全確保について、ハード、ソフトの両面からの取り組みに努めます。なお、実施時期の延期は無いものと考えます。</li> <li>「学校規模適正化基本計画」および「学校施設等管理</li> </ul>	7

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校に向けての「慣らし運転」のような期間が必要であるならば その期間を工事の始まる前に行ないその後C案を開始しても良いのではないのか？市民の安全と生命を守ることができるのであればそうすべきである。</li> <li>・出来るだけ早期に開校することが小中学生や近隣住民及びその過程に与える影響はより少ないと考える。</li> <li>・放課後児童会の時間延長を認めてほしい。</li> <li>・放課後児童会を希望する人の全てが安全に利用できるスペースの確保を要望する。放課後児童会の利用児童は年々上昇傾向にある。仮校舎の建設に当たっては、放課後児童会の利用も踏まえ検討することを要望する。</li> </ul>	<p>計画」に基づき進めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協議会での意見取りまとめに記載のとおり、仮設校舎の建設が必要となる各プラン案の中で、長宝寺小学校へ仮設校舎を建設するB案が工期や工程が一番短くなることなど、小学校児童への影響がより少なく、中学校生徒への影響はほぼ無いものと考えます。</li> <li>・関係部局と協議調整のうえ、検討が必要と考えます。</li> <li>・関係部局と協議調整のうえ、必要な施設整備について検討が必要と考えます。</li> </ul>	
--	--	--

### ③通学の安全について

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
通学路や通学の安全対策について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交野市全体に言えることだが、特に、私部・私部南は、道がとても狭いため道路を拡張し、歩道も設け、子どもやお年寄り、身体の不自由な方にとって安全で住みよい街づくりをしてもらいたい。狭い通学路を、多くの集団登校と、中学性の個別登校等で、交差点・踏切など危険がいっぱいとなる。</li> <li>・B案となる場合には、「これまで通学路として使用されず整備されていない道を通学することへの交通上の危険」、「通学距離が長くなり複雑な道を通ることによる迷子や犯罪に巻き込まれる危険」、「熱中症・ゲリラ豪雨等気候に伴う危険」等が想定される。交通上の安全対策だけでなく、犯罪対策、気候における安全対策が、長宝寺小学校へ通うまでに整備されることを要望する。</li> <li>・長宝寺小学校への車で送迎する場合、長宝寺小学校周辺は住宅街で道幅も狭く、送迎が増えると通学する子どもにも危険が及ぶため、対策が必要。</li> <li>・防犯カメラ、安全ハウスでの見守り、防犯対策としてのグループ下校、下校時間の統一、通学路の水路すべてに蓋をする等、その他の安全対策を望む。</li> <li>・ボランティアがなくても安全が確保できる方向で整備し、あくまでボランティアは補助として活用すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事期間中におけるどのプラン案においても、また新校整備後においても、学校や保護者、地域の方々からのご意見を聞きながら、通学路の危険個所の把握や様々な安全対策等について検討するとともに、関係部局、関係機関と連携し、通学路の設定や通学の安全確保について、ハード、ソフトの両面からの取り組みに努めます。</li> <li>・「送迎用の駐車スペース」の確保や「通学専用道路」整備については、地域協議会で出されたプランごとのご意見の解決策（案）の1つであり、実施する解決策等についても、学校や保護者、地域の方々からのご意見を聞きながら、今後検討することとなります。</li> </ul>	77

- ・せめて安全対策は市が予算をかけて対応すべき。付き添いの適切な配置と人数確保とともに、見守り隊や付き添いなどはボランティアではなく、金銭を発生させた方を雇うべき。
- ・私部の村中など道幅を広げるなど物理的に無理な場所があり、迂回すると通学路が複雑になるばかりか通学距離が2km 超え 2.4km となる地区も出てくる。安全対策が現実的にできるのか？小学校低学年には酷すぎると同時に危険である。
- ・交野小学校の通学路は危険がいっぱいである。交野小学校敷地一体校に1,000人を超える児童生徒が集中することになる。工事期間中、600名近い交野小学校児童が集中する長宝寺小学校への通学路も、今後を検討することになる。スクールバスの運行検討案は、通学距離の長さから浮上したのではない。素案通りでは不安が募るばかりである。
- ・令和4年の工事開始までに、交野市通学路交通安全プログラムを実施し、安全対策を先行して実施してほしい。令和2年度、遅くとも3年度の予算に通学路の安全対策工事費を予算化し、小学校工事開始までに通学路の整備をお願いしたい。
- ・長宝寺に決めるのは子どもたちの安全確保が最優先だと思う。確保されてからでない子どもも保護者も納得できない。まず長宝寺に決まってから通学路を決めては遅すぎる、横断歩道を作るのにも2年はかかるのに準備期間が短かすぎる。一刻も早く歩道確保やスクールゾーンを作ったり、子どもの通学の時間帯だけでも車両通行禁止にしてからでない決めてはいけないと思う。
- ・令和6年に長宝寺小学校への通学路が現市役所近辺となる場合に、通学路の安全面をまず第一に教育委員会が考えるべきではないか。通学路の安全面について、「学校・保護者・地域の方々の意見を聞きながら」とされているがボランティア精神にゆだねるといふことなのか。教育委員会として必要な予算（調整、実施）を確保する積極的な姿勢が感じられない。教育委員会が想定される通学路候補の危険箇所を把握すべきである。そのうえで、地域に意見を求めるべきではないのか。

- ・スクールリーダー制度を期間中教育委員会にて実施していただきたい。（学校までの通学路を先導して歩く）
- ・通学路は安全であることは必須条件です！
- ・B案では、交野小学校なら小学校の6年間は安全な道で適度な通学時間で通えることを大きな理由として、交野市に引っ越してきた住民の信頼を大きく裏切ることとなる。一方的に安全リスクの高まる学校に通わせるのであれば、市が予算をかけてでも危険なポイントに人（できれば警備員）を配置すべき（犯罪の抑止力にもなるし、期間限定ではあるが雇用の創出にも繋がる）。
- ・保護者・地域に対し、通学路の設定及び、安全対策についての説明会を開くべきと考える。
- ・交野が原学園（現交野小学校）への通学路の整備（歩道の拡幅と歩道の設置、歩道や交差点に歩道柵・車止めポールを設置、等）を開校時までに行うべき。
- ・新校舎工事中の長宝寺小への暫定通学路は、P T A（保護者・教職員）を交えた実地調査を早急に行って危険箇所を抽出し、ルート上の歩道等の整備を行う。
- ・工事期間中の案は、学校を決めようとしているだけで通学路の検討がない。子どもたちにとっては、家の玄関を出たところからが通学路で安全が最も心配される場所です。通学路を検討し、安全が確かめられてから教育委員会として提案してください。
- ・車の良く通る道路、信号の無い横断歩道、高い塀がある道(地震、老朽化で倒れる可能性)などを考慮して通学路を選定して頂きたい。
- ・「送迎用の駐車スペース」の確保とあるが、安全対策、警備はどうするのか？
- ・「通学専用道路」整備とあるが、どのような整備を考えているのか。  
また、通学路専用道路の整備箇所数と場所（教育委員会が対策必要と想定する場所も含めて）は。
- ・地域協議会の解決策案（「一中生のクラブトレーニングで通学路を走る」、「犬の散歩がてら見守る」、「有志のぶらぶら・きよろきよろ運動」など）は付け足し。教育委員会として、子どもの安全を守る対応について、考えている点は？

通学方法について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバスの運行が難しい理由を「概ね2km以内の通学距離」であることを理由に上げているが、通学路の安全面が確保されていない現時点では、「難しい」と考えるのは、時期尚早ではないか。難しいという点を削除してほしい。</li> <li>・「2km以内の通学距離である」「他の小学校の通学距離との比較」という観点から、杓子定規にスクールバス運行は厳しいとするのではなく、今回は「工事期間中の特殊な事例」と捉え、必要と考えるご家庭にはスクールバスの運行を認めるべきであると考えます。</li> <li>・スクールバスを検討してほしい。学校の解体工事中から建て替え完了後も含め、登下校に2km近く小学生を歩かせるのは危険。荷物が重い、遠くて辛いだけではない。民家の少ない場所では露出狂が出たり、民家の込み入った場所でも変質者が出る。特に小さい子ども達にはすぐに家に逃げ込めない危険は多く、保護者の立場としても不安である。</li> <li>・「通学バス運行の際、利用料は保護者の一部負担」とあるが、義務教育にも拘らず住む地域によって保護者に新たな負担を課すことを妥当と考えるのか？</li> <li>・スクールバスの運行ですら難しいのであれば、希望者は全て自家用車で送迎できる体制を整えてほしい。</li> <li>・京阪バスにて長宝寺小学校近辺まで登校できる路線を新校舎に登下校できる様になるまでの間、運行してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の交野市内の全ての小学校区における最長の通学距離を考慮した徒歩通学圏として、平成28年度に策定した「学校規模適正化基本方針」において適正な通学距離が定められており、概ね2km以内の通学距離でのスクールバスの運行は厳しいと考えます。学校や保護者、地域の方々からのご意見を聞きながら、通学路の危険個所の把握や様々な安全対策等について検討するとともに、関係部局、関係機関と連携し、通学路の設定や通学の安全確保について、ハード、ソフトの両面からの取り組みに努めます。</li> </ul>	9

## 5. その他（工事期間中の教育環境の在り方の見直し等について）

5件

### （1）工事期間中の教育環境の在り方の見直しについて

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今後、教育制度の変更や社会情勢の変化などが生じた場合には、必要に応じて見直されることを要望します。」とされているが、学校教育審議会が要望している点について、教育委員会としては必要な場合見直しを考えているのか。具体的にどういう想定で要望されているのかわかりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育期間における制度の変更や、児童生徒数の極端な変化といったものが考えられます。</li> </ul>	1

## (2) 情報発信、周知について

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
<ul style="list-style-type: none"><li>・小中一体校が前提で話が進んでいる今の状況に、不安を感じている。交野市教育委員会からこの話が出てきてもあまり現実味をおびた話に思えずにいた。そのくらい周知されていないと感じている。</li><li>・わが子の保育所のなかでは、小中一貫についての情報が最近まで知らされていなかった。交野市教育委員会として情報発信力が弱いと思う。案内文書を配布するだけでなく、各園で希望対象者に説明会をするなど、もっと保護者に対する情報発信をするべきである。</li><li>・保護者や市民は、新しい学校への期待感はあるものの、「一体校」の取り組みを知るほど「学習環境がどうなるのか具体的に教えて欲しい」などの不安は倍増、説明不足である。</li><li>・是非地域の人への説明会をお願いする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・これまでも、また今後も様々な機会を通じて情報発信、周知に努めます。</li></ul>	4

■素案の内容以外の意見等 134件

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応	意見数
<p>小中一貫教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交野市の子どもは落ち着いていて北河内でも学力が高いので、小中一貫のような過度の教育改革はへい害である。</li> <li>・小中一貫教育は絶対やめて！！子どもたちが、かわいそう。</li> <li>・何故、小中一貫教育が必要なのか！？</li> </ul>	<p>・小中一貫教育については、平成28年度に策定した「交野市小中一貫教育指針」に基づき、令和2年度からすべての中学校区で実施することとしています。</p> <p>「交野市教育大綱」では、「小中一貫教育の取組みとして、学園（中学校区）ごとに「めざす子ども像」を定め、その実現に向け、共同して指導の在り方の研究と実践を行う」ことで、「義務教育終了までの『学びの連続性』を保障する」教育の重要性を掲げています。また、「交野市学校教育ビジョン」では、9年間を見通した指導の一貫化や系統化を図り、授業研究や指導方法の工夫改善を図るための体制づくりが、「確かな学力」をはぐくむ教育の推進につながることを述べています。</p> <p>近年、国際化や少子化、情報化の進展など子どもたちを取り巻く環境の大きな変化のなかで、学習意欲、不登校、いじめ問題、家庭での学習習慣等の課題が指摘されています。また、「教育内容の量的・質的充実」や「児童生徒の発達早期化等に関わる現象」など、新たな教育課題もあります。</p> <p>これらの課題を解決していくためには、小・中学校の接続の部分に重点をおいた小中連携教育の取組みを土台に、小・中学校の教職員がめざす子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育をめざす小中一貫教育を進めていく必要があると考えます。</p>	<p>3</p>

施設一体型小中一貫校について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく交野小学校跡地に、新校舎が建ったら、校舎内に、つどいの広場などの未就園児や幼稚園か小学生までの子が遊べる部屋を教室の一室を利用して作って頂きたい。</li> <li>・小学生と飛躍的に心身共に成長いちじるしい中学生とはあまりにも発達段階がちがい過ぎる。おたがい精神発達にも良くない。授業時間のちがう子どもたちがいっしょでは落ち着かない。</li> <li>・小・中を一緒にするのはよくない。50分と45分のチャイムはどうするのか、チャイムなしか、それともどちらかに統一か。</li> <li>・小中の児童生徒を9年間、一緒に敷地で過ごさせることは問題である。</li> <li>・小学校高学年の積極性を抑えることになるのではないか。</li> <li>・交野小の敷地内に3校の児童生徒を詰め込むことは問題である。児童生徒一人あたりの敷地面積・グラウンド面積が大幅に少なくなる。小中別々のグラウンド確保できるのか。2つのプールを確保できるのか。特別教室の確保はどうか。今までより高い校舎となるのか。さまざまな危惧されることに回答を示すべきである。</li> <li>・発達段階が大きく違う小学生と中学生約1,000人が同じ学校施設の中で学ぶにはそれなりの広い用地が必要でしょうが、今の計画では不十分だと思う。実際にどのような校舎、体育館、プール、運動場ができるのか、その中で小学生の生活、中学生の生活が今と同じ様に保障できるのか明らかに提示されていないままどんどん進んでいくのには不安がいっぱいである。</li> <li>・まずは、交野小敷地の一体型一貫校がどのような形で運営されるのか、どのような箱物の配置となるかなどの基本的な情報を公開し、市民の意見を聴取することを求める。</li> <li>・子どものこと第一優先で、どんな学校が作りたいたいかというビジョンからもう一度作りあげてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一中学校区の学校適正配置については、平成30年度に策定した「交野市学校規模適正化基本計画」及び「学校施設等管理計画」に基づき、交野小学校・長宝寺小学校・第一中学校を統合し、現在の交野小学校敷地に施設一体型の小中一貫校を設置する計画を進めます。また、今後、新しく設置する施設一体型小中一貫校の設計段階において具体的に検討を進めます。その際にも、教職員や保護者、地域の方々による協議会ワークショップ等でのご意見を踏まえ、子どもたちの思いも反映しながら進めたいと考えます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している地域協議会や教職員協議会等からのご意見も踏まえ、魅力ある学校づくり事業において、施設一体型小中一貫校の整備に向けた基本計画を策定します。</li> </ul>	<p>16</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今必要なのは、「子供が楽しくのびのびと学べる教育環境づくり」。小1から中3まで年令差10才の子どもたちが、同じ場で学習できるわけがない。あくまで、子どもを中心に、心ある血の通った行政をお願いしたい。</li> <li>・1人1人の子どもの成長をしっかりと見て教育する大切さが小中一体校ではむしろかしさがあるのでは？先生も大変だし、小1と中3の学年のひらきが同じ場所でのうなのか？</li> <li>・交野市が小中一貫校を創設することによって具体的にどのような効果が生み出されるのか交野市の資料を見てもよくわかりかねる。施設一体型の一貫校を作らなければならない必然性が感じられない。どういう点で小中一貫が優れていると考えているか具体的に市民・保護者に明示する責任が市にはあると思う。</li> <li>・一体型の学校を作っていくということは交野の子どもの未来にとって良い事かどうか不安。少子化で一人ひとりの子どもが大切に育てられる面がある反面、家庭間の格差が広がってきているように思います。だからこそ、少人数での教育も大切だと思う。経済面の効率のみで計ることのない教育行政に取り組まれる事を願っている。</li> <li>・思春期等不安定な時期を迎える中学生と同じ学校へ通うことで、小学生に対する、より高度ないじめ(暴力、性的)も考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設一体型小中一貫校は、子どもたちや教職員にとって、これまで積み上げてきた小中連携教育や小中一貫教育の成果を生かすために有効であると考えます。文部科学省が実施した調査においても、9年間を見通した教育を実施している学校ほど、多くの成果を認識しているほか、学校の施設形態別の小中一貫教育については、「施設一体型」に「学習意欲の向上」や「問題行動の減少」といった教育的効果とともに異学年で交流する機会が設定しやすいことから、「上級生が下級生の手本になろうとする意識が高まった」など、最も大きく成果が表れているとの結果が報告されています。</li> </ul>	
<p>パブリックコメントの実施について</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほんとうに市民の声を聞く気があるのか。ただ形だけのパブリックコメントに感じられる。</li> <li>・今回の学校規模適正化室のパブコメは、説明会や資料配布も行われずに実施されている。なぜ実施しなかったのか説明を求める。また、市としてパブコメの実施方法は統一されていないのか。市としての見解を求める。パブコメの実施は、担当課まかせなのか、総務部などで管理しているのか、明確にしていきたい。</li> <li>・学校規模適正化室は、今回のパブコメで何を求めているのか明確でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のパブリックコメントは、交野市の意思決定過程における公正の確保と透明性の向上を図り、市民等の市政への参画を促進することを目的に定めた「交野市パブリックコメント手続き要綱」に基づき実施しています。</li> </ul>	<p>3</p>
<p>交野市学校規模適正化基本計画の見直しや検討について</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交野小学校と長宝寺小学校を統合すると、先生が8名減ることになる。市議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一中学校区の学校適正配置については、平成30年</li> </ul>	<p>106</p>

<p>で説明されているのに、素案では触れていない。学校の統廃合・学校移転・小中一体校体制など、忙しすぎる先生に上積みする計画は止めるべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育は、4つの中学校区全てで進められている。令和7年にかけて児童・生徒数が増える一中校区にだけ、デメリットが多い小中一体校を建設しようとする「学校規模適正化基本計画」に無理がある。立ち止まる勇気を持ち、計画を止めるべき。</li> <li>・現場の教師、児童、生徒、保護者が望んでいない小中一体校計画はおかしい。止めるべき。</li> <li>・計画はあまりにもいい加減で何の為の一体化なのかと思う。</li> <li>・「小中一貫校」の弊害として、狭い敷地に運動場やプールが2つずつできる保障はないし、運動会を一緒にする煩雑さや下校時刻が違ったり、中学校のクラブと小学生の残し勉強が重なり集中できないなど、「小中一貫校」事態に問題がある。「小中一貫校（同一場所）」を撤回してもらいたい。</li> <li>・交野市は児童や保護者への説明も果たしていない。特に児童の意見表明権は国際的な子どもの権利条約でも認められているもの。児童の賛成なくして、一貫校ありきの市のやり方は絶対まちがいの。このような事業（素案）に反対する。</li> <li>・学校規模は1,000人は多い。適当な人数で学習するには小、中学校は別にあるべきである。計画を中止していただきたい。</li> <li>・今回の計画、立ち止まる勇気を持ち計画中止されることを願う。</li> <li>・建て物の老朽化に伴う建て替えが必要ならば、それぞれの学校を個々に修繕、建て替えをしたら良いのではないか。</li> <li>・地域や保護者からは「小中一貫教育がどういうものなのかわからない」、「小中の一体校の是非についてはわからない」との声が多い。圧倒的に市民への説明や情報量が少なすぎるのではないか。いったん出来れば後戻りできない事業、時間をかけて合意のもとすすめるべき、補助金目当ての早急な事業は見直すべきではないか？</li> <li>・保護者は、子どもの安全を第一に考えている。交野小に歩いて行ける近い所と思い、自宅を購入した市民が多くいる。「知らないうちに、一体校になることが</li> </ul>	<p>度に策定した「交野市学校規模適正化基本計画」及び「学校施設等管理計画」に基づき、交野小学校・長宝寺小学校・第一中学校を統合し、現在の交野小学校敷地に施設一体型の小中一貫校を設置する計画を進めます。</p> <p>施設一体型小中一貫校は、子どもたちや教職員にとって、これまで積み上げてきた小中連携教育や小中一貫教育の成果を生かすために有効であると考えます。文部科学省が実施した調査においても、9年間を見通した教育を実施している学校ほど、多くの成果を認識しているほか、学校の施設形態別の小中一貫教育については、「施設一体型」に最も大きく成果が表れていることなどの結果が報告されています。</p>	
--	--	--

<p>決まり、工事中長宝寺に行く」計画、市民に知らせていない。広報に載せた、回覧板で知らせた、では市民に伝わっていない。市民に伝える事は市の責任、計画は中止を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路について、児童の登校時間、下校時間に通学路の現地での調査をし、交野小学校の児童が安全に長宝寺まで通学できる確認をし、それを市民に知らせしてから提案してほしい。この計画案は中止を要望する。</li> <li>・今回、交野小の子どもが義務教育期間中に何度も学校を変わなければならない問題は、一体型一貫校にするという結論ありきで物事を考えているからである。しかも、受験を控える時期に学校が変わる子どもたちも出てくる。なぜ、一中校区に住んでいるだけで、他校区の同年代の子どもたちと違い、余計な負担をかけられながら受験に控えなくてはならないのか。この問題は、一体型一貫校にしなければ解決できる問題である。この点一つとってみても、本当に子どもの教育について、一人一人の人生について考えるのなら、一体型一貫校にするというそもそもの結論を止めるべきだ。</li> <li>・「長宝寺小学校が全学年1学級であり、将来も小規模校のまま推移することが見込まれており」と書かれているが、それなら交野市の小中学校区の再編成をすべきと考える。誰もが安心して通える学校を作るためにも、計画を一旦立ち止まっていたいただきたいと思います。</li> <li>・施設一体型の小中一貫校では、子どもたちの成長・発達が保障されるとは言えない。そして、何より問題なのは、教育に携わっている現場の先生たちの声を聞かずに進めていることである。先生たちの声を聞き、施設一体型の小中一貫校建設は、立ち止まって再検討をすることをお願いする。</li> <li>・交野小学校の児童は新校舎建設中、建設後と2回も学校が変わる場合もある。せめて今通っている児童、通う予定の子どもたちが環境が変わらず今のままの学校で卒業できるのを見越して、10年以上先の計画として市民に周知徹底するのが最低限、市として配慮できる点だしやるべきこと。</li> </ul>		
<p>その他</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交野市にはこのままでは若い人たちは住まなくなる。教育を一番に考えなけれ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や保護者、地域の方々による協議会ワークショ</li> </ul>	<p>6</p>

<p>ば住もうという若い夫婦はいなくなり老人の市となる。未来をみすえて市の運営をすべき、今だけよくては困る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次々と打ち出される素案の内容については、市民が安心して賛同出来る内容ではない。次世代の安全対策!!子育てや福祉にもっと、じっくり検討して欲しい。</li> <li>・学校のことを考えるのに子どものことを最優先に考えるべきではないか。机上の計画で子どものことがおきざりにされているように感じられる。</li> <li>・市庁舎の工事が始まり、その間の通学路の変更が考えられる。長宝寺小への通学は増々危険である。学校規模適正化室だけの判断でなく、市企画全体を見て改めて学校づくりを計画することを要望する。</li> <li>・施設一体型の生活、子どもたちも含め、市民全員に聞いて。学校生活の主人公は子どもたち、メリット、デメリットもしっかり考えられる。子どもの意見表明権を守るのも教育委員会の任務ではないか。</li> <li>・小中施設一体化を含む学校規模適正化計画は市民の理解を得てはいない。学びの連続性、9年間を見通した教育は小学校・中学校のそれぞれの専門性を持った教師の共通部分としてあるべきで、一緒にすればそれが可能になるというのは余りにも考えが貧困ではないか？</li> </ul>	<p>ップ等でのご意見を踏まえ、子どもたちの思いも反映しながら進めたいと考えます。</p>	
--	---	--